



祝! 日本遺産認定

企画展

村上武吉ヒストリー 海の覇者

“日本最大の海賊”と
恐れられた男の波瀾に
満ちた生涯にせまる。



猩々陣羽織 (当館保管・日本遺産構成文化財「能島村上家伝来資料群」)

■ 会 期 2016年 8月21日(日)まで
■ 会 場 今治市村上水軍博物館 企画展示室

観覧料無料
(常設展示観覧の場合は有料)

今治市村上水軍博物館

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪1285番地
TEL(0897)74-1065

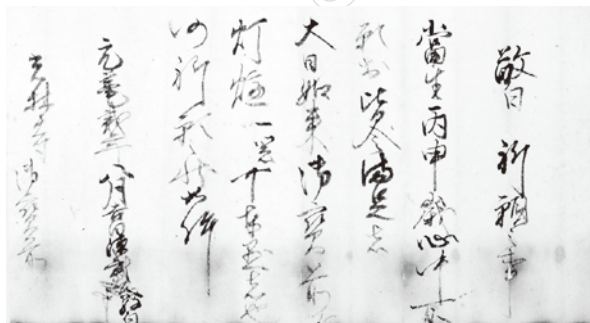
村上水軍博物館

検索

企画展

海の覇者 村上武吉ヒストリー

村上武吉の生年を記した貴重な古文書。村上水軍博物館初出展！



特別公開 光林寺所蔵「村上武吉寄進状」
(今治市指定文化財・日本遺産構成文化財)

祝！日本遺産認定！！

“日本最大の海賊”の本拠地：芸予諸島－よみがえる村上海賊
“Murakami KAIZOKU”の記憶－が「日本遺産」に認定されました！

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、平成27年度から始まった制度です。四国では「四国遍路」について2件目の認定になります。詳しくは、村上水軍博物館の公式ホームページをご覧ください。



村上海賊の海城 能島城跡
(国指定史跡・日本遺産構成文化財)

認定されたストーリーの概要

戦国時代、宣教師ルイス・フロイスをして“日本最大の海賊”と言わしめた「村上海賊」“Murakami KAIZOKU”。理不尽に船を襲い、金品を略奪する「海賊」(パイレーツ)とは対照的に、村上海賊は掟に従って航海の安全を保障し、瀬戸内海の交易・流通の秩序を支える海上活動を生業とした。その本拠地「芸予諸島」には、活動拠点として築いた「海城」群など、海賊たちの記憶が色濃く残っている。尾道・今治をつなぐ芸予諸島をゆけば、急流が渦巻くこの地の利を活かし、中世の瀬戸内海航路を支配した村上海賊の生きた姿を現代において体感できる。

今治市村上水軍博物館

〒794-2203 愛媛県今治市宮窪町宮窪1285番地 TEL(0897)74-1065

村上水軍博物館

検索

アクセス

◆車【しまなみ海道】

- 尾道・本州方面から：大島北ICから約3km
 - 今治・四国方面から：大島南ICから約10km
- ※大島北ICおよび大島南ICはハーフィンターとなりますので、今治・四国方面からは最寄りの大島北ICでは降りられません。逆に本州方面からは大島南ICで降りることができませんので、ご注意ください。

◆JR→高速バス

